

# 令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

## 特定非営利活動法人福祉支援ロボット研究会

### 1 事業の成果

本法人では、非営利的立場から介護業界等におけるロボット導入に関しての技術・サービスなどの有益な調査や紹介等の事業を行い、地域福祉に寄与することを目的とする。

平成28年度の10月に本法人を設立してきたが、いろいろな助成金や民間介護施設が獲得した補助金などに関係した介護ロボットの普及に向けた調査活動等を行うことができた。さらに平成30年度には、一般財団法人義倉から助成金を獲得することができ、地方介護現場へのロボット導入・普及に向けて、介護ロボットの導入状況調査（事前調査）及び情報提供や介護ロボット展示会の開催と介護現場改革に向けてのセミナー開催などを行い、福山市内及び周辺の介護施設等で抱える問題なども一部ながら把握することができた。

新たな令和元年度では、幸いにもこれまでの我々の活動に興味と理解が得られていたのか、福山市のまちづくり推進部の方から毎年行って来ている「福山ばら祭り」への協力・出展等のお話をいただくことができた。11月末から福山市と具体的な打ち合わせを開始し、福山平成大学とのジョイントによる出展となり、福山平成大学看護学部の学生さん達と一緒に「次世代の移動手段を提案!」、「次世代タウンモビリティを知ろう!」や「赤ちゃんのオアシス!」などに向けての介護・看護関連機器の出展による[ソーシャルグッド・ケア]部会活動の準備に入ることができた。

しかし、コロナ感染問題が発生し出した令和2年度では、「福山ばら祭り」の現地での展示開催が中止となり、我々のソーシャル・グッドケア部会では、動画による「介護ロボット紹介」を行った。その結果、YouTubeアーカイブ「ばら祭チャンネル」視聴回数については、我々の動画紹介が最も多くの数を獲得していることの調査報告を福山祭企画実行委員会から受けた。

その他に、前年度までのNPO法人福祉支援ロボット研究会として「介護現場へのロボット導入・普及に向けた展示会」に関する活動においての展示会や体験会では、医療・介護機器を見て・触れて・体験する機会の開催を望む声が多数あった。そこで、令和2年(2020年)12月12日に福山まなびの館ローズコムにて「Let's Try マシン腰!!」のキャッチフレーズを掲げてパワードスーツ展示・体験会を実施した。コロナ感染拡大が気になったが、消毒の徹底や三密などを防ぐ体制準備も整えたお蔭か、予定を上回る参加者があり、5社の開発・販売代理店からの出品で最先端の腰用マシンの比較・体験ができ、参加者の皆様に満足していただける形で、無事閉幕することができた。そこでは、開発業者や販売代理店の方々と熱心にロボット機能などについて議論していただき、ミスマッチを防ぐためのしっかりとコミュニケーションを果たしてもらったと思われる。

このような令和2年度までの活動状況を先に述べてきましたが、本年度の令和3年度については、コロナ感染問題がさらに拡大したため、我々の事業活動にも大きな影響が及び、介護現場へのロボット導入・普及活動をほとんど行うことができなかった。また「福山ばら祭り」についても現地開催ができず、前年度と同様の動画による「介護ロボット紹介」のみとなった。

しかしながら新たな事業活動として福山医療専門学校からオープンキャンパスでのロボット紹介の依頼があった。本法人の理事である俵氏が令和3年11月14日に「医療・介護ロボットの紹介」のタイトルで、機

能回復ロボットの動画を含めた講演を行った。理学療法士の資格取得を目指す学生達からは、機能回復ロボットへの理解が深まり、今後の理学療法に関する選択肢の広がりを感じることができたとの報告があった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の 金額 (単位：千円)
ロボット導入サービス事業	令和2年度と同様に、令和3年度福山ばら祭りに向けてのウェブ上でロボット紹介動画を示した。 福山医療専門学校でのオープンキャンパスにて「医療・介護ロボットの紹介」講演を行った。	令和3年4月～令和4年3月まで	コロナ禍のため主にメールや電話連絡を行った。 オープンキャンパスについては、福山市引野町にある福山医療専門学校にて行った。	2人	本法人関係者及び福山医療専門学校生等、延べ人数は約25名	全てボランティアのため費用はほとんど無し、ただしNPO法人関連通信費や消耗品費などの支出が有り。 約26千円
						/

### (2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	事業費の 金額 (単位：千円)
なし					0

**令和3年度 活動計算書**  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人福祉支援ロボット研究会  
(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正会員受取会費	0		0
2. その他収益	0		
寄付金	0		0
受取利息	0		0
経常収益計			0
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
事業費			
(1) 人件費	0		0
(2) 会議費	0		0
(3) 旅費交通費	1,200		1,200
(4) 通信費	1,930		3,130
(5) 消耗品費	20,250		23,380
(6) その他 (NPO法人協力会員費)	3,000		3,000
事業費計			26,380
2. 管理費			
管理費			
(1) 人件費			
人件費計			
(2) その他経費			
その他経費計			
管理費計			0
経常費用計			26,380
当期経常増減額			△26,380
<b>III 経常外収益</b>			
1. 固定資産売却益			
.....			
経常外収益計			
<b>IV 経常外費用</b>			
1. 過年度損益修正損			
.....			
経常外費用計			
経理区分振替額			
当期正味財産増減額			△26,380
前期繰越正味財産額			34,612
次期繰越正味財産額			8,232

令和3年度 貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人福祉支援ロボット研究会

(単位：円)

科目		金額	
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金		2,232	
普通預金		6,000	
流動資産合計			8,232
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計			
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計			
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計			
固定資産合計			0
資産合計			8,232
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
仮受金			
流動負債合計			0
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			0
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産			
			34,612
当期正味財産増減額			
			△26,380
正味財産合計			8,232
負債及び正味財産合計			8,232

**財産目録**  
 令和4年年3月31日現在  
 特定非営利活動法人福祉支援ロボット研究会  
 (単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	2,232	
普通預金	6,000	
流動資産合計		8,232
2. 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		8,232
II 負債の部		
1. 流動負債		
仮受金		0
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		8,232